

レンジフードDA403

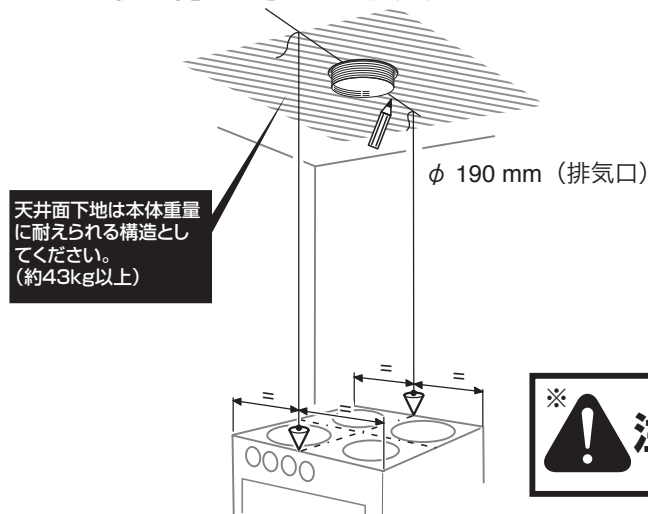
Miele

設置・施工手順書

安全上の注意点

- お客様による取り付け工事は危険です。据付設置は、必ず販売店または指定サービス店にご依頼ください。
- 指定技術者以外は、絶対に修理・分解を行わないでください。
- レンジフードの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないようにしてください。また壁への埋め込みはしないでください。いずれも漏電した場合発火のおそれがあります。
- 必ずアースを取り付けてください。電気配線工事はすべて電気設備工事基準、および貴都市の条例、規定に準じて行ってください。
- 浴室や風雨にさらされる場所や湿気の多い場所には設置しないでください。排気ダクト（パイプ）は、室外から水が流れ込まないように勾配を取ってください。
- こんろ（クッカー）との距離は、80cm以上確保してください。各種の調理機器をご使用になる場合は、それぞれの安全距離に対応できるように、最大の規定値を確保してください。
- 本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。
- レンジフード本体やダクトなどが、他の電気製品や電源コードなどの各種コード類と接触しないようにしてください。
- 100V+アース線 電源直結式
- 電源配線は、耐熱性のものをお使いください。

ダクト取り付け時の注意点



- 調理機器の真上に取り付けてください。
- 排気ダクトは直径150mm以上のスパイラル管（不燃性巻き）を使用してください。管は、天井面から引き出せるようにしておいてください。
- 曲率半径の大きいベンドを使用してください。曲率半径の小さいものは排気能力がさがります。



注意

法令および条例にしたがって、フレキ管ではなくスパイラル管を使用してください。

150mmφ以下の排気ダクトや小さい平形排気チャンネルを使用すると、運転音が大きくなり、排気能力が激減する可能性があります。

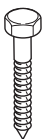
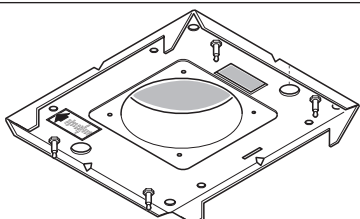
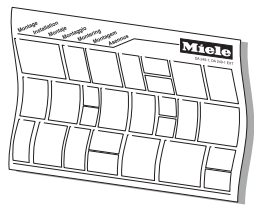
■部品・付属品

取り付け前に同梱部材をご確認ください。

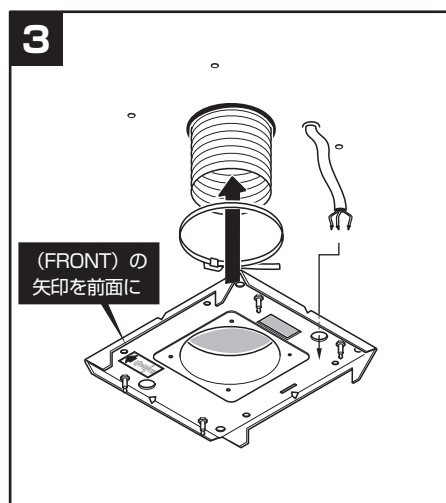
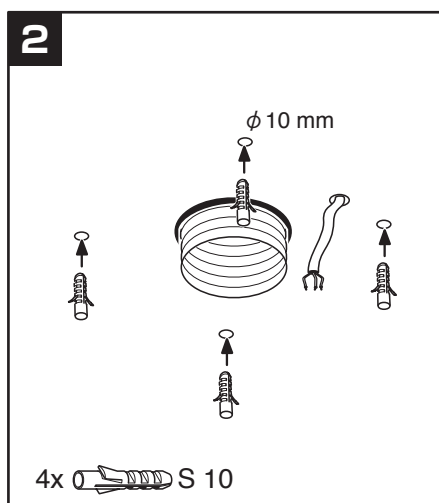
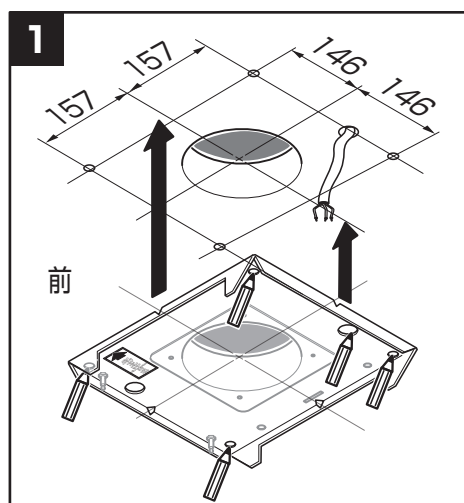
万一、部材が不足している場合は、販売店、またはミーレ・ジャパン株式会社までご連絡ください。

DA 403

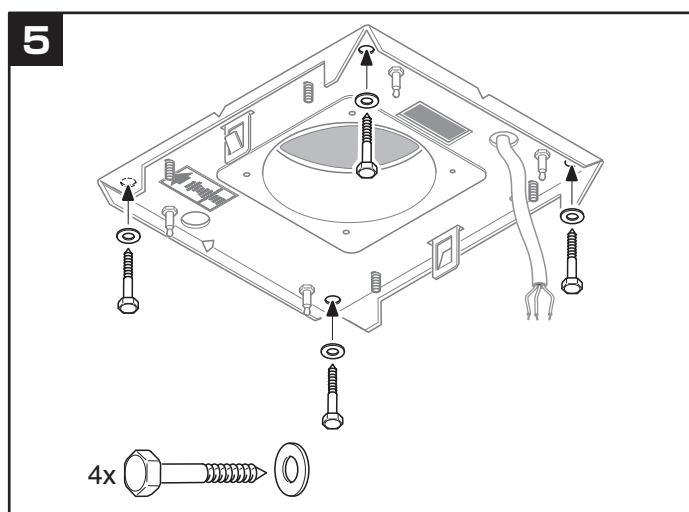
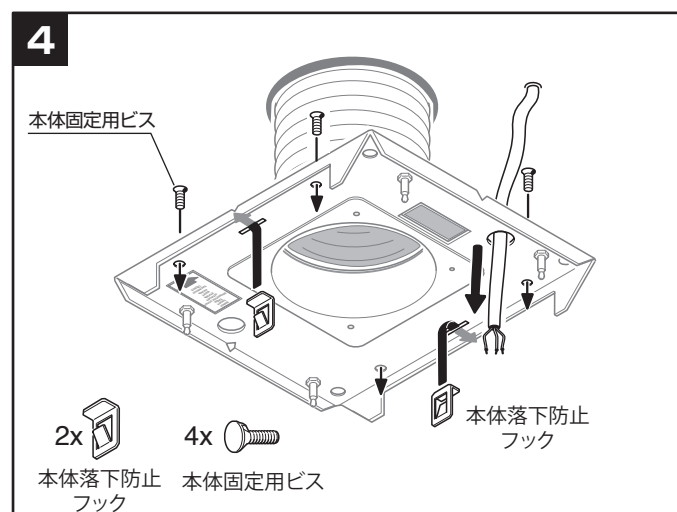
※ビス等は多めに同梱されている場合がありますが、下記数量で取り付けできます。

保持金具固定用ネジ・金具類			本体固定用ネジ・金具類		
 ネジ 5×40mm ×8本	 保持金具固定用 ワッシャーM4×16mm ×8個	 プラグS8R40 ×8本	 本体固定用ナット セルフタッピン・ナット M4 ×8個	 本体固定用ビス M4×16mm	 本体落下防止 フック
本体固定用 保持金具			排気筒固定用	設置マニュアル (イラスト版)	
 本体保持金具			 ホースバンド ×2本		

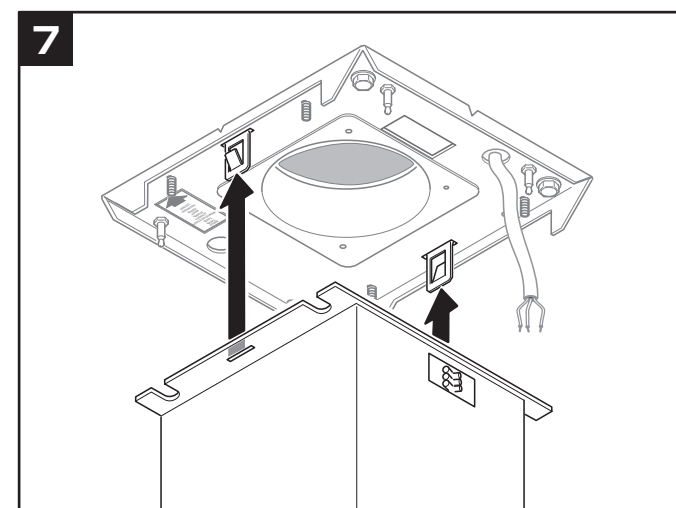
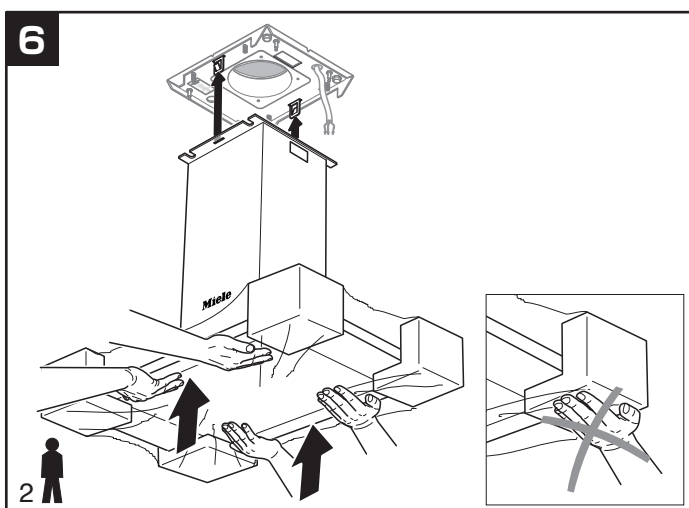
レンジフードDA403



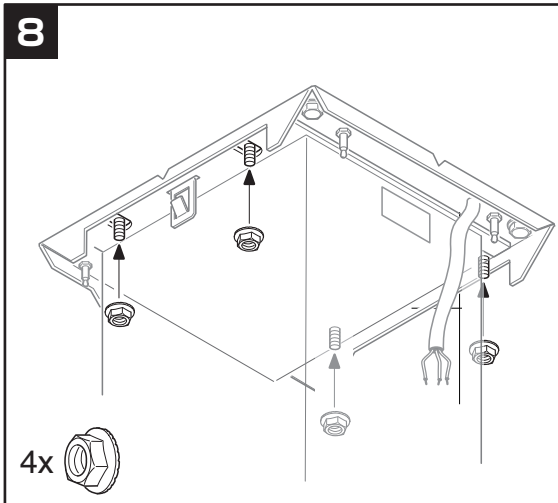
1. 天井面に設けた排気口の中心線を探り、その中心線に合わせて保持金具をあてます。図のように、金具4箇所にあるビス穴位置をマークします。
2. マークした位置に下穴 (φ 10) をあけて、プラグを埋め込みます。
3. 天井面から引き出した排気ダクトに保持金具を取り付けます。ホースバンドを使ってしっかりと取り付けてください。



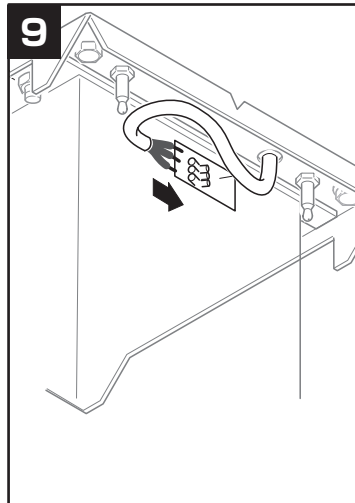
4. 本体保持金具の図の4箇所、本体固定用ビスを落とし込みます。ビスには空転防止に出っ張りがあります。保持金具側の穴の切り欠きと出っ張りが合うように注意してください。
次に、金具の前後方向2箇所のスリットに、本体落下防止金具を落とし込みます。
5. 天井面に、本体固定用ネジとワッシャーで保持金具を取り付けます。



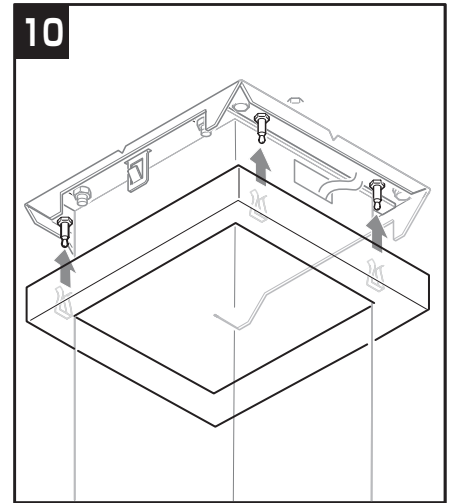
6. 本体を水平に支え、先ず落下防止フックに引っ掛けます。
このとき必ず2人以上で作業してください。
また、梱包材を持って支えると、梱包材が滑るなどして、不意に本体を落下させてしまう可能性がありますので、必ず本体を持って持ち上げてください。
7. 本体落下防止フックに本体がしっかりかかって、懸架されていることを確認します。



8. 図のように、保持金具4箇所から出ているビスに、固定ナットで本体をしっかり固定します。

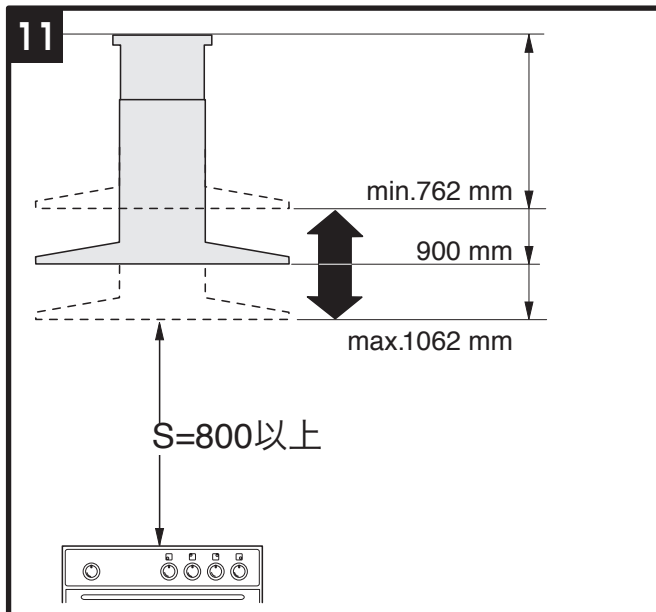


9. 天井面から引き出しておいた電源コードを本体に直結します。



10. ダクトカバー基部を覆う化粧カバーを取り付けます。保持金具から出ている4箇所のピンに、化粧カバー側のキャッチャーをはめこむことで固定できます。

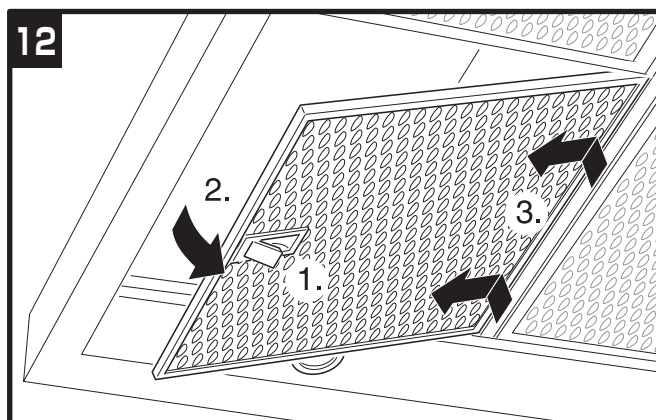
クックトップからの高さの調整



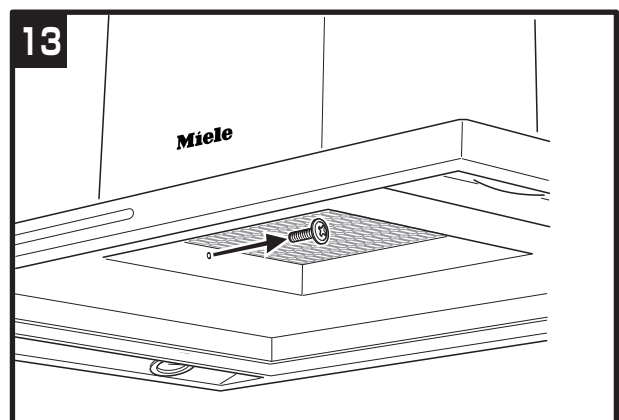
11. 天井高によって、レンジフードの設置高は異なってきます。

但し、レンジ上面からレンジフードまでの距離 S は、消防法によって800mm以上となっています。左図を参考に、予め概ねの高さを割り出しておいてください。

レンジフードの設置高（範囲）は、762～1062mmです。



12. 先ずグリスフィルターを取り外します。



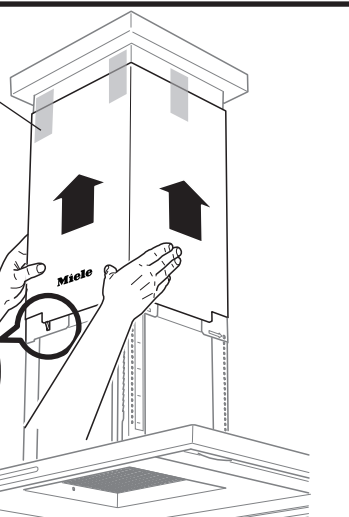
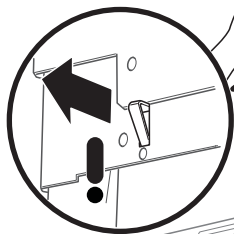
13. 排気吸入口にある、ダクトカバー固定ネジを取り外します。これによりダクトカバー（下）が動くようになります。

クックトップからの高さの調整

14

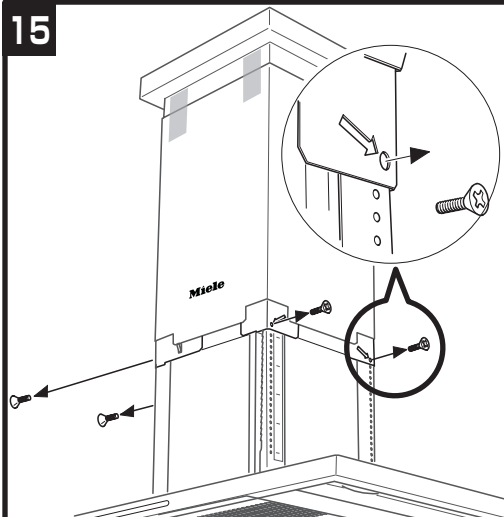


ダクトカバー(下)を
テープ等で固定



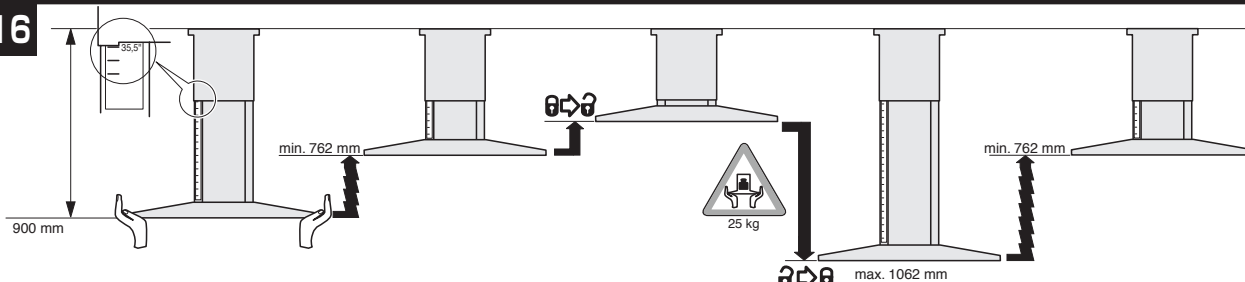
14. ダクトカバー(下)を上へ滑らせて持ち上げます。上げきったところで、ストッパーが飛び出していきます。これにより、カバーの落下が防がれますが、手・指等を切らないように注意してください。※安全のためテープ等でカバーを固定することをおすすめします。

15



15. 露出した本体内部の位置決めビスを抜き取ります。(左右4箇所)

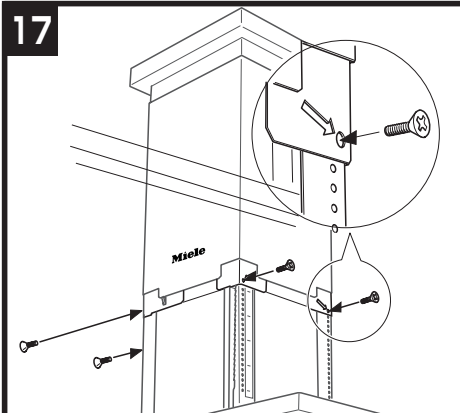
16



16. 本体をゆっくりと少しずつ押し上げていき、任意の高さで止めます。(クリック音を確認しながら持ち上げる)

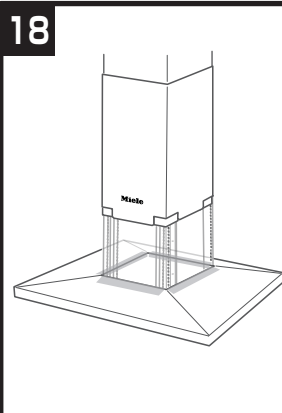
ラチェットのツメがかかった状態で、本体は止まっていますが、高さを直したい場合は、一旦一番上(762mm)まで本体を持ち上げるとラチェットが開放され、元の高さまで下ろすことができます。

17



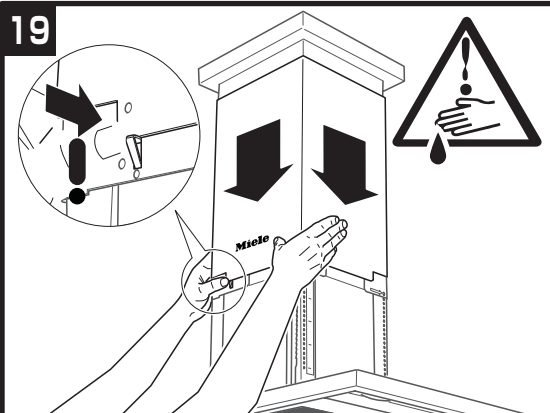
17. 高さ調整前に取り外した位置決めビスをねじ込み、本体を確実に固定します。

18



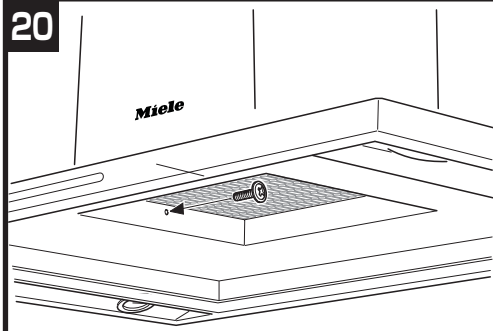
18. ダクトカバー(下)を元に戻す前に、傷がつかないように、開口部に養生テープを貼ってください。

19



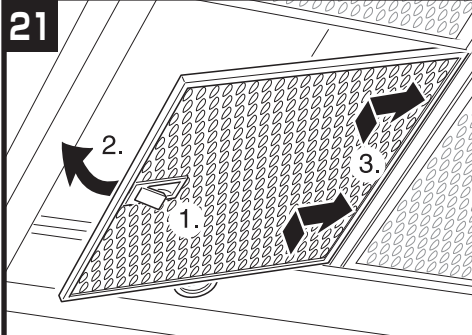
19. ストッパーを注意しながら押し込み、ダクトカバー(下)を下ろすようにします。手・指を切らないように注意してください。

20



20. 固定ビスを元に戻します。

21



21. グリスフィルターを元に戻して完了です。

ミーレ・ジャパン株式会社

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-10-11 目黒山手プレイス
電話(03)5740-0030(代) FAX(03)5740-0035

お問い合わせは…

ミーレ・お客様コンタクトセンター
☎ 0120-310-647 (通話料無料)

■受付時間
月～金 9:00～17:30
(土日・祝祭日休業)
instl-DA403-121228